



かわらばん



Contents

- 新年のご挨拶①
- 金光病院の結石治療②
- 通所リハ・老健だより・面会禁止のお知らせ③
- 地域包括ケア病棟(2階)での取り組み④

発行年月日／
2021年1月15日

発行人／理事長 難波 義夫
編集／金光病院広報委員会

〒719-0104 岡山県浅口市金光町占見新田740
TEL(0865)42-3211(代)・FAX(0865)42-5801
TEL(0865)42-3261(診療予約専用ダイヤル)

e-mail konkou-hos@mx1.tiki.ne.jp
U R L http://konkohp.jp/

新年のご挨拶

医療法人社団同仁会 理事長 難波 義夫

新年あけましておめでとうございます。

昨年は一年を通しコロナ禍に振り回された年でした。年を越し、いまだ先が見えない状況が続いております。日本では東京をはじめとする都市部を中心に感染者数が多く出ていましたが、昨今はそれが地方にも広がり、岡山でも感染者数の増加、クラスターの発生等油断できない状況になっています。外出等の自粛が続き、コロナ鬱になる方も多く、国民全体が悶々と生きているようです。しかし、現時点では新しい生活様式のなか、踏ん張り時と考えます。

また、アメリカ、ヨーロッパではコロナは日本以上に猛威を振るっているようで、果たしてオリンピックはどうなるのか心配です。アメリカも今年は分断と差別から国際協調への政策変換がうまくいくのでしょうか、世界の盟主として自由社会を安定させてもらわなくてはなりません。

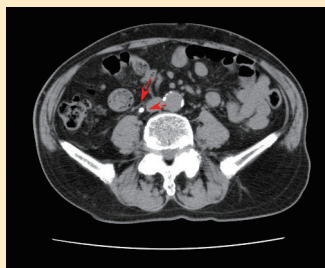
医療界はコロナ禍の影響で、患者さんの受診のありようも変わってきています。ますます地域医療構想、働き方改革、医師の偏在への対策が急がれると思います。荒波の中、今年のテーマは「たゆたえども、沈まず」この言葉はフランスのパリの市章のそばに書かれている言葉でラテン語の記載ですが、市章は波に浮かぶ帆船が描かれており「揺れはするが決して沈まない」ということらしいです。パリの街は長い間権力闘争に巻き込まれながらも世界一流の都市であり続けるということです。これからますます医療界は厳しい状況に置かれそうで、どのような激しい波を受けて揺らされようとも、うまく流れに乗って決して沈むことのないように前に進みたいと思います。

本年もご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



金光病院の結石治療

泌尿器科 牧 佳男



今年の夏は暑かったせいかわれ年より尿路結石の患者さんが多かったように思います。尿路結石症を疑った場合、まず検尿とCT検査をします。

腎盂腎炎や腎周囲炎の合併を疑ったり結石のしやすい体質のチェックをする場合は血液検査もします。

夜間ですぐにCT検査ができない場合は超音波検査で腎臓の腫れの有無をみて尿路結石の診断をする場合もあります。

結石には通常の単純写真では写らない石があるのでCT検査は重要です。

5mm以下の大きさの結石は、閉塞のために尿が尿路外に漏れたりしていなければ自然排石を期待して排出促進剤や鎮痛剤、尿酸結石の場合、結石の溶解剤を処方して経過をみます。

尿が尿路外に漏れている場合はあいた穴を塞ぐために腎臓と膀胱の間に管（ステント）を留置することもあります。

5mm以上の大きさの結石の場合は排出に時間がかかり結石の閉塞のたびに痛みを伴いますので手術をお勧めしています。

結石が単純写真で写る石で大きさが10mm未満の尿管結石は体外衝撃波治療をします。

これは結石に衝撃波の焦点が当たるようにして体外から衝撃波を3000-4000発照射する治療ですが、肥満で皮膚から結石までの距離が長かったり、結石が硬かったりすると1回の治療では結石が碎石できない場合もあります。



10mm以上の尿管結石や腎結石は内視鏡治療が必要で尿道から尿管に尿管鏡を挿入したり、皮膚から腎臓に腎盂鏡を挿入してレーザーで結石碎石します。

体外衝撃波治療は日帰り治療が可能です、内視鏡手術は全身麻酔や下半身麻酔で手術をしますので4-7日の入院が必要です。

尿路結石の原因は多くの場合、体質ですので再発を繰り返します。

結石が一度できた人は結石成分を調べて予防の指導をするとともに結石が大きくなって治療が難しくなる前に発見するため定期チェックを受けるようにしていただいています。



通所リハビリテーションで排便教室をおこないました

通所リハビリテーション 理学療法士 平田英嗣

2020年6月・7月・8月に週1回の頻度で排便教室をおこないました。

通所リハビリテーションの利用者様4名に参加いただきました。

「排便状況」を確認した後、「排便習慣」、「排便姿勢」、「排便体操」、「食習慣」、「水分摂取」について学習しました。

排便教室参加後、重度の便秘症状が改善した方がいらっしゃいました。

今後も利用者様の排便トラブルを解決するために、排便教室を活用していきます。



老健だより

ケアリゾート金光 相談員 西村美保子

新型コロナウイルス感染の拡大に伴い、当施設では昨年の2月末より、家族さまには感染予防対策の為、面会・外出・外泊の制限をお願いし、現在も継続させていただいています。

4月からウェブ面会（リモートでの面会）での対応をさせていただいてはおりますが、入所利用者さまは、ご家族と直接お会いし、手を取り互いの温もりを感じる等、触れ合うこともできず、とても寂しい思いをされています。

ケアリゾート金光では、少しでも利用者さまに楽しんでいただけるよう、毎月、季節にあった行事を計画させていただいております。

「我慢、我慢」のお願いが続いている中、笑顔の花を咲かせて新年を迎えていただきたいと願い、12月は『ケアリゾート金光 紅白歌合戦』を開催いたしました。

職員が紅白に分かれ、歌や踊り・一発芸、利用者さまにも一緒にエアロビクスに参加していただく等、最初から最後まで、笑顔と笑い声が絶えないとても温かなひと時となりました。

紅白歌合戦ということで、利用者さまに赤白のお手玉による採点投票もしていただき、どちらが勝つのか？と、その勝敗の行方にも目を輝かせておられました。

最後に、施設長扮するサンタより、利用者さまの健康を願う♪クリスマスプレゼント♪で幕を閉じました。

今後も、しっかりと感染予防対策に取り組みながら、『利用者さまの心に、一つでも多くの灯りをとすお手伝いをさせていただきたい』と思います。



面会禁止のお知らせ

- ・新型コロナウイルス感染が拡大しております。県内でもクラスターが発生しており、大切な患者様をお守りするために **12月21日より「面会禁止」といたしました。**

※「面会禁止」おける入院患者様の対応については病棟看護師にお尋ねください。

※入館者すべての方に体温測定・体調確認をさせて頂いております。

※当分の間、院内の出入り口は「正面玄関」と「病棟地下東出入口」の2ヶ所とさせていただきます。

●岡山県ホームページに受診センター（保健所）の一覧と、曜日ごとの診療・検査医療機関が掲載されています。

地域包括ケア病棟(2階) での取り組み

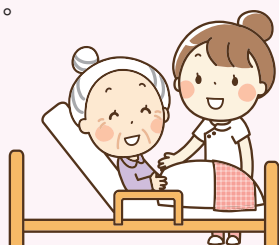
理学療法士 森 明実

地域包括ケア病棟では、退院後の在宅生活が安心して送れるよう様々な取り組みをしています。

入棟された患者様の活動度を病棟専従の理学療法士が確認させていただきます。それに基づいた情報をピクトグラムで「見える化」し、ケアに関わる全ての職種が患者様の状態に合わせた介助、支援ができるよう情報共有し、患者様やご家族に注意点や動作の様子をお伝えできるようにしています。

また退院後の生活に必要なインスリン注射・ストーマ操作の手技の指導、日常生活動作の練習、介助方法の指導なども行っております。現在は感染対策のため制限がありますが、必要に応じて実際にご自宅に伺って環境整備のアドバイスも行います。

病気や怪我で生活しにくさがあっても、住み慣れた地域での生活ができるよう、各職種の専門性を生かし、在宅復帰に力を入れてまいります。



ベッドサイドに
このような表を設置しています。▶

注意事項(採血禁止、体重をかけない等)を表示しています			
移動	トイレ	食事	内服
見守り	ポータブル スポン介助	トロミ弱 ポタージュ状	取り出し
	安静度や体の状態に応じて、歩行補助具の更新をします。	一口量小	とろみ等食事の内容も全スタッフで共有します

装具や三角巾を使っていることを表示しています

金光病院の理念

地域の人々の「健康」と「命」を大切にします。

金光病院の基本方針

1. 急性期から終末期まですべての領域において全人的医療を行います。
2. 患者様の自立を支援し、早期在宅復帰を目指します。
3. 謙虚な心、礼節を忘れず、責任を持って最善の努力をします。
4. 研修・研鑽に励み、質の高い医療・看護を提供します。
5. 地域の中核病院として、周辺医療機関、施設との連携を推進します。

編集後記

寒さが厳しい中、皆様いかがお過ごしでしょうか。
例年とは違う冬になりそうですが、新しい生活様式で新しい冬の楽しみ方を見つけてみましょう。



日本医療機能評価機構
医療機能認定病院